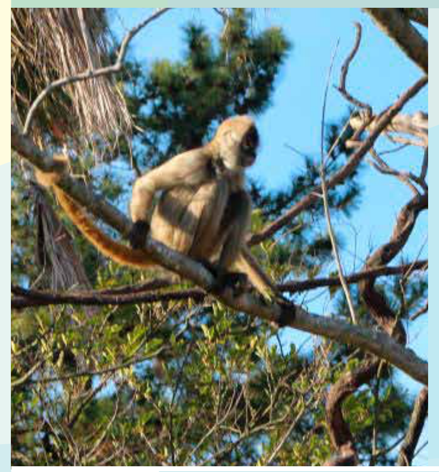
トークショー タイムスケジュール

6月7日［火］

10:00

T-1 動物と子どものあそびの共通点

今、公園の遊具から子どもたちの歓声が聞こえてくるでしょうか。歓声や動きが絶えない遊び場とはどのようなものでしょうか。私は動物園のデザイナーとして、世界を歩いて動物が飛び交う展示をつくり、あることに気づきました。それは土地の起伏です。様々な起伏をもとに、心をくすぐる要素を織り込むことで、子どもたちの動きは輝きます。



動物園デザイナー

若生 謙二

Kenji Wako

動物園デザイナーとして多くの動物園でデザインの発信にとりくむ。最新作は 2020 年に完成した上野動物園の「パンダのもり」。子供の遊び場として、人工的な遊具複合ではなく、地面の起伏を活用した自然遊び場の必要性を提唱し、その実現に向けてとりくんでいる。ヒトと動物の関係学会会長、日本展示学会会長。日本造園学会常務理事･関西支部長を歴任。東京大学農学博士。著書:動物園革命（岩波書店）他多数、訳書:よみがえるセントラルパーク（ソフトサイエンス社）他。設計:天王寺動物園「アフリカサバンナ」､「アジアの熱帯林」、よこはまズーラシア「チンパンジーの森」、長野市茶臼山動物園「レッサーパンダの森」、飯田市動物園「カモシカの岩場、ペンギンの丘」、熊本市動植物園「ニホンザルの森」等。日本造園学会賞、及び同特別賞受賞。宇部市ときわ動物園「中南米の水辺」等の施工で国土交通省都市交通局長賞受賞。大阪府河南町子ども園自然遊び場。

11:30

T-2 子どもの健やかな脳発達のために

人間の脳はどのように発達するのか。どの時期にどのような関わりが適切なのか。生活習慣と脳の関係、電子メディアとの接触についてなど、子どもが健やかに育つためには、大人は何をすべきか。16 万人の脳画像を見てきた脳医学者である瀧靖之氏を講師にお招きし、子どもの心身の発達を脳科学から紐解きます。

東北大学スマート･エイジング学際重点研究センター 副センター長
東北大学加齢医学研究所教授
医師 医学博士

瀧 靖之

Dr. Yasuyuki Taki

東北大学加齢医学研究所及び東北メディカル・メガバンク機構で脳の MRI 画像を用いたデータベースを作成し、脳の発達や加齢のメカニズムを明らかにする研究者として活躍。読影や解析をした脳 MRI は、これまでにのべ約 16 万人に上る。「脳の発達と加齢に関する脳画像研究」「睡眠と海馬の関係に関する研究」「肥満と脳萎縮の関係に関する研究」など多くの論文を発表している。
著書は、「生涯健康脳（ソレイユ出版）」「賢い子に育てる究極のコツ（文響社）」「本当は脳に悪い習慣、やっぱり脳にいい習慣（PHP 研究所）」始め多数、特に「生涯健康脳」「賢い子に育てる究極のコツ」は共に 10 万部を突破するベストセラーとなっている 。
テレビ東京「主治医が見つかる診療所」､「NHK スペシャルアインシュタイン 消えた “天才脳” を追え」、NHK「あさイチ」、TBS「駆け込みドクター！」など、メディア出演も多数。

13:30

T-3 共に生きる

生まれてすぐダウン症と診断された金澤翔子さんは、5 歳のときより母・金澤泰子さんに師事、書道を始めました。
その書が各地で反響を集め、NHK 大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫したことも話題となりました。金澤泰子さんはダウン症児への理解を広めようと、全国で講演を行っておられます。今回の講演では翔子さんと共に生きてきた人生を語っていただきます

久が原書道教室 主宰

金澤 泰子

Yasuko Kanazawa

金澤翔子の母。明治大学卒業。書家の柳田泰雲・泰山に師事。1990 年､東京･大田区に「久が原書道教室」を開設。著書に『天使の正体』（かまくら春秋社）､『翔子の書』（大和書房）､『涙の般若心経』（世界文化社）､『心は天につながっている』（PHP 研究所）､『金澤翔子』（平凡社）､『悲しみを力に』（ＰＨＰ研究所）など。久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。日本福祉大学客員教授。

15:00

T-4 メディア遊具を通して子ども達に伝えたいこと

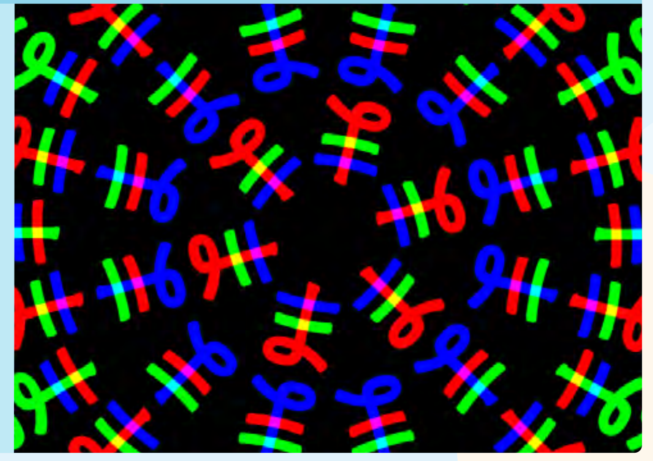
「映像 × 遊具」という新しい試みにチャレンジしたメディア遊具「OFURO」。今回、デザイン・映像制作を担当したグラフィックデザイナー 佐藤氏に､日常空間にある「お風呂」の中に､非日常的な映像空間を創り出そうとしたのか？子どもたちのあそびをどのように変化させようと思ったのか？開発への想いをお話いただきます。

グラフィックデザイナー

佐藤 卓

Taku Satoh

1979 年東京藝術大学デザイン科卒業、1981 年同大学院修了。株式会社電通を経て、1984 年佐藤卓デザイン事務所設立（現 株式会社 TSDO）｡「ロッテ キシリトールガム」や「明治おいしい牛乳」などの商品デザインをはじめ、広くシンボルマークやグラフィックデザインを手掛ける。また､NHK Eテレ「にほんごであそぼ」アートディレクター、「デザインあ」の総合指導、21_21 DESIGN SIGHT ディレクターおよび館長を務めるなど多岐にわたって活動。2017 年にオープンした富山県美術館では擬音語・擬態語をテーマにした楽しい遊具が並ぶ「オノマトペの屋上」をデザインした。



6月8日［水］

10:00

T-5 乳幼児の発達を促す感覚・運動あそびについて

乳幼児の成長に合わせたからだの動きや、運動に親しむためのあそびとは、どのようなものなのでしょうか？子どもたちがからだを動かす楽しさや心地よさを実感しながら、心身の発達に必要な運動経験がもてる感覚あそびや運動あそびについて、具体例をまじえながらお話いただきます。さらに、運動の起こるしくみから、感覚を磨くことの大切さ、体力や運動能力の獲得について、理論の面からも解説をしていただきます。

早稲田大学 人間科学学術院 教授 / 医学博士

前橋 明

Dr. Akira Maehashi

早稲田大学 人間科学学術院 教授・医学博士。国際幼児体育学会 会長。日本レジャー･レクリエーション学会会長。日本食育学術会議 会頭。インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク代表。国際幼児健康デザイン研究所顧問。日中児童健康Lab､顧問。米国ミズーリー大学大学院で修士(教育学)、岡山大学医学部で博士（医学）。倉敷市立短期大学教授、米国ミズーリー大学客員研究員、米国バーモント大学客員教授、米国ノーウィッジ大学客員教授、米国セントマイケル大学客員教授、台湾：国立体育大学客員教授を経て現職。

11:30

T-6 子どもたちのイノベーションの芽を育てる

日本の未来を担う子どもたち。未来に向けて、幼児期にイノベーションの芽を伸ばしていくことがどれほど大切なのか？乳幼児教育・保育を担っている皆様方にお願いしたいことなどを、特許庁の「ジュニア イノベーション フェス」などの活動を通して今、考えていることをお伝えいただきます。

独立行政法人 経済産業研究所 RIETI
上席研究員

西垣 淳子

Atsuko Nishigaki

東京大学法学部卒業後、通商産業省（現経済産業省）に入省。2021 年 7 月より現職。
経済産業省デザイン政策室長時代に、ユーザー視点にたった「デザインの力」を活用した新たなビジネス展開を支援。後に、経済産業省 / 特許庁による「産業競争力とデザインを考える研究会」へと発展させ、「デザイン経営宣言」を 2018 年に発信。特許庁ではデザイン経営プロジェクトチームを率いている。

「デザイン経営」宣言
経済産業省・特許庁
産業競争力とデザインを考える研究会
2018年5月23日

13:30

T-7 記憶をつくる仕事

形そのものを完成品とするのではなく、その形にどのような記憶が入っていくかということを想いながらものづくりを進めていく皆川氏。「どう記憶に残るか」ということは、皆川氏が常に考えているテーマだといいます。
生地を切ることで自分だけの作品をつくることが出来るように、自分の手で完成させていくことで、よりパーソナルなものになっていくと考える皆川氏のものづくりへの想いをお話いただきます。

デザイナー

皆川 明

Akira Minagawa

1995 年に「minä perhonen」の前身である「minä」を設立。ハンドドローイングを主とする手作業の図案によるテキスタイルデザインを中心に、衣服をはじめ、家具や器、店舗や宿の空間ディレクションなど、日常に寄り添うデザイン活動を行っている。デンマークの Kvadrat、スウェーデンの KLIPPAN などのテキスタイルブランド、イタリアの陶磁器ブランド GINORI1735 へのデザイン提供、新聞・雑誌の挿画なども手掛ける。
〔 photo by Shoji Onuma 〕

15:00

T-8 あそびこそが「プレイフルラーニング」のSTEAMエンジンだ！

「あそび ×STEAM」子どもたちは、あそびからドキドキ・ワクワクをたくさん感じています。
創造性をあそびによって解き放つことで､共創が生まれ「Playful」な環境が生まれます。今回は「ものづくり」からコミュニケーションを活性化させることで「Playful」を体験し､「ラーニングフル プレイ」（あそびの中に学びがあふれている）に気づく機会となっています。

ラーニング・アーティスト

上田 信行

Nobuyuki Ueda

同志社女子大学名誉教授、ネオミュージアム館長。1950 年、奈良県生まれ。同志社大学卒業後、『セサミストリート』に触発され渡米し、セントラルミシガン大学大学院にて M.A.、ハーバード大学教育大学院にて Ed.M., Ed.D.（教育学博士）取得。専門は教育工学。プレイフルラーニングをキーワードに、学習環境デザインとラーニングアートの先進的かつ独創的な学びの場づくりを数多く実施。1996~1997 ハーバード大学教育大学院客員研究員、2010~2011 MIT メディアラボ客員教授。
著書に『協同と表現のワークショップ：学びのための環境のデザイン』(2010, 共編著、東信堂)、『プレイフルラーニング：ワークショップの源流と学びの未来』(2013, 共著、三省堂)、他多数。

ジャズピアニスト・数学研究者
STEAM 教育者・メディアアーティスト

中島 さち子

Sachiko Nakajima

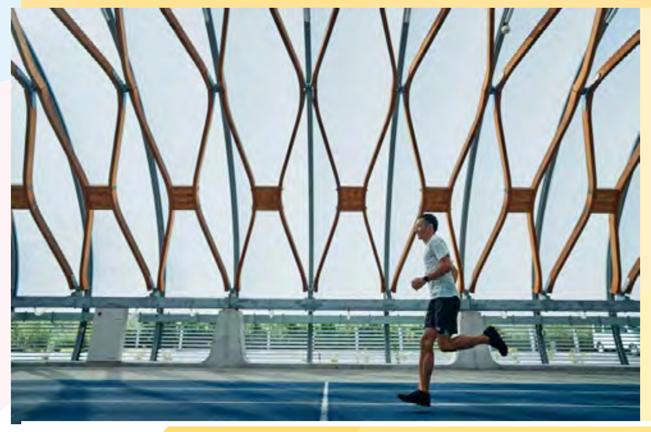
（株）steAm 代表取締役、（株）STEAM Sports Laboratory 取締役 / 大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー（「いのちを高める」）/ 内閣府 STEM Girls Ambassador
現在は主に音楽・数学・STEAM（教育）・メディアアートなどの世界で、国内外にて多彩に活動。ニューヨーク大学 Tisch School of the Arts, ITP (Interactive Telecommunications Program) 修士。国際数学オリンピック金メダリスト（日本人女性唯一）。明治大学先端数理科学インスティテュート（MIMS）客員研究員。経済産業省「未来の教室” と EdTech”」研究会研究員。群馬県新総合計画策定懇談会構成員。フルブライター。米日財団日米リーダーシッププログラムフェロー。

6月9日［木］

10:00

T-9 からだであそびみらいをひらく - ホモルーデンスから学んだこと -

人間の体は柔らかくできています。チーターのように速く走ったり、猿のように木に登ったり、魚のように泳いだりすることには向いていませんが、複雑な動きをしたり、ある情景を頭の中で想像しながら演じたり、他者と動きを協調して行うことは得意です。それはまるで遊びに適して進化したかのようです。からだであそぶことは環境との間で学ぶことであり、それは未来を作ることにもつながっていきます。



Deportare Partners 代表
元陸上選手

為末 大

Dai Tamesue

1978 年広島県生まれ。スプリント種目の世界大会で日本人として初のメダル獲得者。男子 400 メートルハードルの日本記録保持者（2022 年 12 月現在）。現在は執筆活動、会社経営を行う。Deportare Partners 代表。新豊洲 Brillia ランニングスタジアム館長。Youtube 為末大学（Tamesue Academy）を運営。国連ユニタール親善大使。主な著作に『Winning Alone』『走る哲学』『諦める力』など。

11:30

T-10 ”常識のたがを外す”ことが創造的な探求に繋がる

アートを通して自身の視点でものごとをとらえ、解釈し、表現することで、ものの見方を広げることができる「アート思考」。これにより、私達は無自覚の前提を認識し、『常識のたがを外す』ことで、自由で創造的な探究活動ができるようになります。これからの STEAM 教育や探究学習において『自分なりのものの見方や考え方で問いを生み出す』大切な手段となる「アート思考」について、お話いただきます。

美術教師 / アーティスト

末永 幸歩

Yukiho Suenaga

武蔵野美術大学造形学部卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科（美術教育）修了。浦和大学こども学部講師、東京学芸大学個人研究員。作品づくりや知識の習得を重視する従来の美術教育に疑問を感じ、アートを通して、ものの見方を広げ「自分だけの答え」をつくることに力点を置いた探究型の授業を中学校・高等学校で展開してきた。現在は、新聞・雑誌への執筆活動のほか、教育機関での講演会や、大人向けのセミナーなど、アート思考に関する活動を年間 100 回以上行い、参加者からは「美術がこんなに面白かったなんて！」「物事を考えるための基本がわかる」と反響を得ている。著書に 16 万部突破のベストセラーとなった『13 歳からのアート思考』（ダイヤモンド社）がある。

13:30

T-11 お菓子で育む子どもの力

子どもだけしか入店ができないパティスリー「未来製作所」。お菓子を通して、子どもたちの「伝える力」を伸ばすと同時に、大人が子どもと向き合うきっかけとなっています。
味覚の「気づき」が全てに通じると話す小山氏が、食育を通してこれからの子どもたちに大切なことをお話いただきます。

パティシエ エス コヤマ
オーナーシェフ

小山 進

Susumu Koyama

1964 年京都生まれ。2003 年兵庫県三田市に「パティシエ エス コヤマ」を開業。フランスのショコラコンクールでは初出品以来 8 年連続最高位を獲得。また、パティシエ／ショコラティエとしての領域に留まらず創作活動を行い、2015 年には絵本『The Lost Treasure』（作･小山進､絵･にしのあきひろ）を出版。さらに、2019、20 年と２年続けて『ビートルくんときんいろのバウム』『ショコラータはかせとしあわせのボンボンショコラ』（共にフレーベル館）を出版し、エスコヤマの世界観を通じて、お菓子づくりだけでなく、モノづくりを多面的に発信している。

15:00

T-12 子どもの主体性を育む『見守る保育』の環境づくり

人生の基礎を養う大切な力を育む場所とはどのようなものか。乳幼児施設の新しい変化や今後の保育のあり方について、「見守る保育」を提唱されている藤森氏をお招きし、実践されているノウハウを交えながら子どもの主体性を育む環境づくりについてお話いただきます。

認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究所ギビングツリー 代表
新渡戸短期大学客員教授

藤森 平司

Heiji Fujimori

1949 年東京都生まれ。大学では建築学を学び、その後資格を得て小学校教諭として小学校勤務。1979 年、建築学と小学校教員の経験をもとに東京都八王子市に省我保育園を開園。1997 年､多摩ニュータウン（八王子市）にせいがの森保育園（子育て支援センターわくわく併設）を開園。2007 年、これからの時代の質の高い保育の実践を目指し、新宿せいが保育園を開園。
全国からの見学･研修を受け入れつつ保育環境研究所ギビングツリーによる講習会、インターネットブログ「臥竜塾」などを通して、「見守る保育」の啓発活動を積極的に行っている。

その他 イベント情報

プロが教える！本格クライミング

プロクライマーが超本格的クライミング遊具「CLIMBING WALL GAMBA」にて実演を行います！実演を通して、遊具での遊び方や指導方法、安全に使用するためのポイントを学べます。また、実際に商品に触れて頂き、遊ぶことも可能です！クライミングで遊ぶことの楽しさや、養われる能力について実際に体験してみませんか。

プロクライマー
ZIPROCK Bouldering gym 代表

渡邉 数馬

Kazuma Watanabe

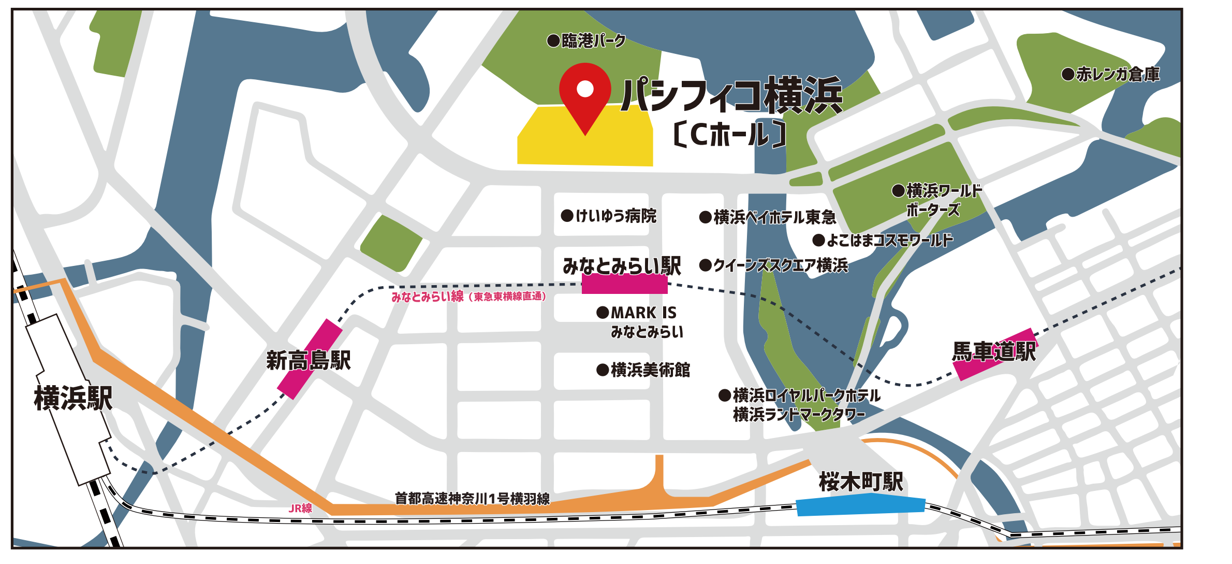
大迫力！書道パフォーマンス

「ダウン症の天才書家」として知られ、東大寺・中尊寺・伊勢神宮など数多くの神社仏閣で個展や奉納揮毫を行い、海外で個展を開くなど世界で活躍する書家 金澤翔子氏による実演書道パフォーマンスを行います。
会場内特設ステージにてご覧いただけます。

書家

金澤 翔子

Shoko Kanazawa



臨港パーク
パシフィコ横浜〔Cホール〕
赤レンガ倉庫
横浜ワールドポーターズ
けいゆう病院
横浜ベイホテル東急
よこはまコスモワールド
みなとみらい駅
クイーンズスクエア横浜
みなとみらい線（東急東横線直通）
MARK IS みなとみらい
新高島駅
横浜駅
横浜美術館
横浜ロイヤルパークホテル 横浜ランドマークタワー
馬車道駅
桜木町駅
首都高速神奈川1号横羽線
JR線

パシフィコ横浜 C ホール
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい１丁目１－１

会場への詳しい
アクセス方法はこちら▶

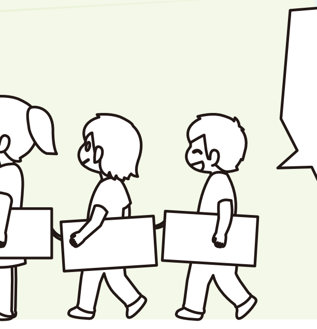
こども環境サミット 2022

6/7 - 6/9
［Tue］ ［Thu］
9:00 ～ 19:00

こども環境サミットは、子どもたちに関わることを様々なジャンルの専門家の方と一緒に考えるイベントです。
第３回のテーマは、『あそびの価値について』です。新たな時代の創造につながる、子どもたちの“あそび”について掘り下げます。
会場にて、皆様のご参加をお待ちしております。

新しい世界ってなんだろう。
子どもはたくさんのあそびに出会って、大きくなる。
時代によって、場所や様子は違うけれど、どんなときも、あそびがなければつまらない。

あそびとの出会いでうまれた、ちいさな波紋はやがてゆっくりと、大きく広がっていく。
新たな世界を拓いていく子どもたちにとって、どんな花も咲かせる未来の種。
それが「あそび」です。



詳細は WEB の
イベントページを
ご確認ください！

お申し込みに関して

＊感染症対策による混雑緩和のため当展示会へのご入場については「WEB での事前申し込み」を行います。
〔3 月 1 日～受付開始／こども環境サミット WEB : https://kodomosummit.info〕
＊入場は無料です。混雑時は、一時入場をお待ちいただく場合があります。

＊トークショーは有料 ￥3,300（税込）でご参加いただけます。
＊トークショーは事前のお申し込みが必要です。お席に限りがありますのでご注意ください。
＊講演時間・内容は変更になる場合がございます。WEB サイトにて最新の情報をご確認ください。

＊事前申し込み後、QR コードを発行いたします。
ご入場時には必ず QR コードのついたチケットをご提示ください。
（QR コードの付いたチケットを印刷するか、スマートフォンの画面に表示してください。）

感染症対策に関して

会場内は感染症対策として以下の対応を行っております

- 混雑を避けるため、入場は完全予約制です。WEB から事前に申込みをお願いします。
- 会場内の展示品と備品の消毒と清掃を定期的に行います。
- 外気取り込みによる会場内の換気強化をいたします。
- 受付・商談の際は飛沫防止対策を実施させていただきます。

ご来場される際は以下の点についてご理解の程よろしくお願いいたします。

- ご来場日に体調が優れない場合は来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 受付時に検温を行います。体温が 37.5 度以上の場合は入場をお断りさせていただきます。
- 会場内ではマスクの着用をお願いいたします。
- 入場される際はアルコール消毒をお願いいたします。

最新情報は WEBサイトでお届けします。
https://kodomosummit.info

JAKUETS

発送元：株式会社ジャクエツ こども環境サミット事務局 〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 22-4 TEL : 03-3445-3755